

ガルダ・インドネシア航空と
スクラム組み観光客誘致

県とインドネシアの国営航空会社ガルダ・インドネシア航空は、4月14日笛吹川フルーツ公園で共同記者会見を行い、訪日観光の取り組みを共同で展開していくことを発表しました。共同事業の皮切りとして、同日、インドネシアの富裕層に人気のサイクリングツアーを県内で実施。同社のエミルシヤ・サタル社長もツアーに参加し、山梨の春を堪能しました。

インドネシアは、人口約2億4千万人(世界4位)で、経済成長が著しく、訪



共同記者会見で握手を交わす
エミルシヤ・サタル社長(左)と堀内観光部長

日旅行者誘致の有望な市場と期待されています。ガルダ・インドネシア航空が日本の自治体と連携してプロモーションを実施するのは今回が初めて。今後、共同で年間を通して4〜5回、山梨でのサイクリングイベントを開催し、観光客誘致に結び付けていきます。

また、今年10月には、横内知事がインドネシアでトップセールスを行うなどインドネシアと山梨との交流が一段と深まることが期待されます。



第1回サイクリングツアーは、眼下に甲府盆地が広がる
笛吹川フルーツ公園をスタート

県内企業の海外展開を支援
「JETRO山梨貿易情報センター」

日本貿易振興機構(JETRO)の地方事務所となる「JETRO山梨貿易情報センター」(JETRO山梨)が、4月、アイメッセ山梨内にオープンしました。

JETRO山梨では、貿易・投資相談、セミナーなどを企業のニーズに合わせて実施していくほか、海外ビジネスを担う人材を育成するための海外研修、インターシップなども行っていきます。

県では、JETRO山梨と綿密な連携を図りながら、県内企業の海外展開や販路拡大を支援していきます。



海外ビジネスなどに関する資料の閲覧コーナーも併設

大規模災害発生時に
消毒・衛生害虫駆除を
迅速に実施

県と山梨県、ベストコントロール協会は、4月26日、大規模災害発生時ににおける防疫業務の協力に関する協定を締結しました。

今回の締結により、防疫の実施主体である市町村では対応が困難な大規模災害が発生した場合に、県が山梨県ベストコントロール協会の協力を得て必要となる薬剤・器材などの確保と、消毒・衛生害虫駆除などを迅速に実施し、被災後の衛生環境の悪化と感染症の発生・拡大を防止していきます。



協定書にサインをし、握手を交わす山梨県ベストコントロール協会
中村代表理事(左)と横内知事

「やまなしうまいっねっと」
外国人旅行者をサポート

山梨ならではの食の体験サイト「やまなしうまいっねっと」では、富士河口湖・笛吹地域の観光果実園、ワイナリーなど約50の食体験施設を写真、体験レポートなどを通して紹介しています。

このサイトは、日本語のほか、英語・韓国語、中国語(繁体字、簡体字)に対応。また、食の楽しみ方や体験のルール、施設までのルート案内機能などがあり、外国人旅行者をはじめ、多くの方に活用されることが期待できます。



韓国忠清북도でも注目、富士山の
世界文化遺産登録と地場産品

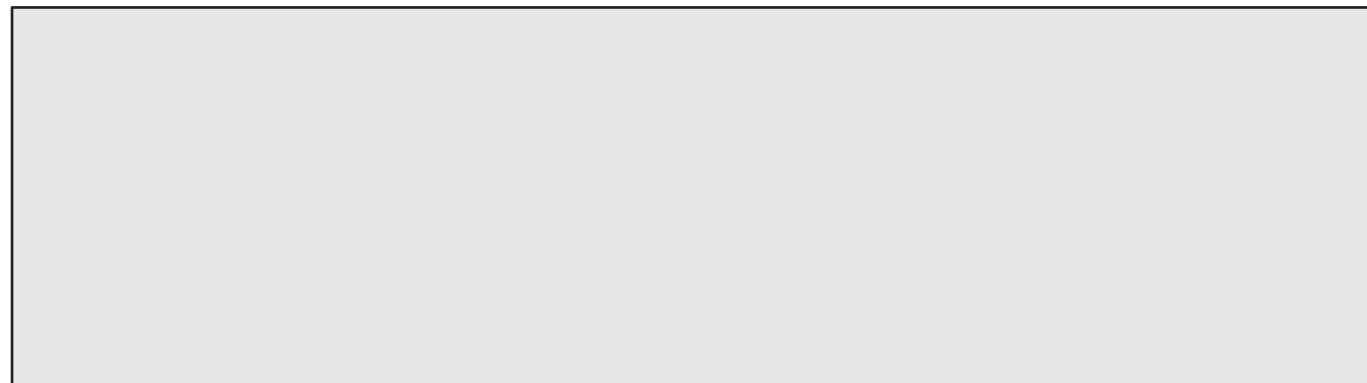
5月初旬、本県と姉妹締結している韓国・忠清北道の招請により、オゾン化粧品・ビューティー世界博覧会の開幕式に、平出副知事が出席し、忠清북도との友好関係を深めました。

また、これに合わせて、富士山をはじめとする観光資源や地場産品を紹介する広報ブースを出展し、本県のPRを行いました。開幕式直前に、富士山の世界文化遺産登録に関する勧告がニュースになったことから、多くの方々の本県に関心を持ってブースを訪れ、甲斐絹や印伝などを購入したいという声も聞かれました。



県産品が展示された山梨県広報ブース前では
平出副知事(左)、辛忠清北道行政副知事(中央)らがテープカット

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

